

目標設定シート (2009年度)

部局と評価項目・要素

対象部局	総合政策研究科
大項目	6 教育内容・方法・成果
中項目	6.4 成果
小項目	6.4.1 教育目標に沿った成果が上がっているか。
要素	学生の学習成果を測定するための評価指標の開発とその適用 学生の自己評価、卒業後の評価（就職先の評価、卒業生評価）
小項目	6.4.2 学位授与（卒業・修了判定）は適切に行われているか。
要素	学位授与基準、学位授与手続きの適切性 学位審査および修了認定の客観性・厳格性を確保する方策（院）

○2009年度からの目標

1. 博士前期課程の院生の研究に対して、複数あるいは他領域の教員からコメントできる発表の機会を年2回程度設けること、また発表へのインセンティブを与える仕組み（発表の義務化など）も導入することを、2010年度中に検討した上ですみやかに実施に移す。
2. 博士後期課程の院生の研究に対して、発表の機会を年2回程度設け、発表へのインセンティブを与える仕組み（奨学金の充実化など）を2010年度中に検討したうえですみやかに実施に移す。
3. 博士前期課程・後期課程の院生1人当たりの学術雑誌等での論文刊行数を、2013年度までの5年間で1.5倍にする。
4. 修士論文の質を改善するための仕組みを2010年度中に検討し、実施に移す。
5. 博士論文の質を改善するための仕組みを2011年度までに検討すると共に、博士論文提出までの基準をより明確にする。

○指標

1. 前期博士課程院生の学内研究発表機会（ワークショップ等）の開催回数
2. 後期博士課程院生の学内研究発表機会の開催回数および学会での発表回数
3. 前期博士課程院生および修了者、また博士後期課程院生による学術雑誌論文刊行数
4. 前期博士課程院生の修士論文の成績評価の平均点
5. 後期博士課程院生による査読付き論文の刊行数